

# 課題名：周南市鹿野地域における新規就農者パッケージ支援制度の構築

周南農林事務所農業部 チーム員：朝山哲也、松井香織、熊谷 恵、近藤修一、増  
富義治、棟居祐子

## ＜活動事例の要旨＞

周南市が推進する「新規就農者パッケージ支援制度」における「技術研修」、「農地の確保」、「機械・施設整備」について重点的に支援し、研修生7人を確保した。

また、超促成畑わさびと夏秋トマトを主体とした経営モデルの確立に向け、経営指標を作成するとともに、花茎わさびの関西市場への出荷販売体制を整備した。

## 1 普及活動の課題・目標

### (1) 課題

- 新規就農者パッケージ支援制度の内容検討
- 新規就農希望者の確保
- 技術習得支援と受入体制の整備
- 農地・施設・機械の確保・整備
- 出荷販売体制の整備
- 取組品目の産地育成と経営モデルの構築

### (2) 目標

- 鹿野地域における新規就業者の累積数 10人

## 2 普及活動の内容

- (1) 周南市新規就農パッケージ支援制度推進会議の設立が決まり、この中の4部会（募集・研修部会、条件整備部会、住宅生活部会、営農支援部会）を中心に制度を推進した。
- (2) 研修生の確保に向け、ガイダンス等でのPR活動や就農相談会における制度への誘導に努めた。
- (3) 1期生の現地研修に係る指導農家の選定を支援した。また、(農)Fと連携し、トマトほ場の団地化を推進した。
- (4) 機械・施設整備計画の作成を支援した。
- (5) 花茎わさびの関西市場への出荷体制の整備を支援した。
- (6) わさび苗の夏越し実証を行い、超促成栽培用の優良苗を生産することができた。また、夏秋トマト+超促成畑わさびの経営モデルを作成した。



### 3 普及活動の成果

- (1) 研修生1期生3人、2期生4人を確保した。
- (2) (農)Fから利用権設定を譲り受けることで、トマト用ほ場約1.4haを確保した。また、渋川地区に約0.6haの農地を確保した。
- (3) 花茎わさびの関西市場への試験出荷がスタートした。
- (4) わさび苗の夏越し実証の結果、96%の苗を夏越しさせることができた。



### 4 今後の普及活動に向けて

29年度から施設整備がスタートし、30年3月には1期生が就農するため、周南市新規就農パッケージ支援制度推進会議4部会の活動を強化し、1期生の円滑な就農に努める。  
また、3期生以降の募集活動を積極的に行い、研修生を確保する。